

## X I 総合看護研究施設

### 1 位置づけ

本研究施設は、1991年4月1日に設立された。設立の目的は、建学の精神に則り、看護の分野に関連する諸科学を科学的、技術的、総合的に研究し、看護の発展に寄与貢献することである。

#### (1) 看護の基礎的検討

看護のユニフィケーションをめざして、看護教育と臨床医学の連携について分析し、総合看護の実践にふさわしい教育施設としていく。

#### (2) 看護教育に関する研究

- ① カリキュラムの研究
- ② 看護教育制度と方法に関する研究
- ③ 教育評価の測定に関する研究

#### (3) 看護における関連諸科学との総合研究

- ① 看護の質保障に関する研究
- ② 看護と医療経済に関する研究
- ③ 看護環境の動向（予測）に関する研究
- ④ 生命倫理からみた看護に関する研究

### 2 組織

構 成 員	
所 長	中谷 啓子（准教授）
所 員	橘田 節子・吉野 由美子（講師）、石附 友美・蔵本 文乃（助教）

### 3 施設概況

総合看護研究施設（J館）があり、総延べ面積は、施設面積約30m<sup>2</sup>である。主な設備は、コンピュータ（ノート型、インターネット利用可能）1台、カラーレーザープリンター1台、プロジェクタ1台、デジタルカメラ1台、ラミネーター1台である。図書・雑誌等は、図書館と連携し、図書館所蔵資料を活用している。

### 4 活動概要

看護研究に活用可能な統計処理に関する公開講座、および看護研究を推進するための個別（研究グループ毎）支援活動に力を入れて取り組んだ。本学図書館の協力を得て、文献検索の支援なども実施した。また、2006年度からの継続事業として、本学教員を研究代表者とし学校内外研究者をメンバーとするグループによるプロジェクト研究に対し研究助成金を給付し、研究活動の推進を支援した。環境面では、看護研究支援活動の一環として、総合看護研究施設内のコンピュータ・カラーレーザープリンタ等の整備を行った。さらに、昨年度から、地域住民を対象に、健康生活の維持・向上に向けた啓蒙活動の一貫として公開講座を実施し、広く地域に根ざした研究施設としての活動を展開した。

次に、主な実施概要を示す。

## 1) 公開講座

## (1) 看護職者対象

月日／会場	テーマおよび講師	参加者数	担当者
10月25日／ 東海大学 12 号館 402 教 室	エクセルで統計処理 ーエクセルを用いた統計講座『入門編』ー 講師：松木 秀明先生 (東海大学健康科学部教授)	31名	丹澤 洋子、中田 芳子、 中谷 啓子、橘田 節子、 吉野 由美子、石附 友美、 蔵本 文乃、石川 ひろみ
10月25日／ 東海大学 12 号館 402 コ ンピュータ 一室	エクセルで統計処理 ーエクセルを用いた統計講座『応用編』ー 講師：松木 秀明先生 (東海大学健康科学部教授)	29名	丹澤 洋子、中田 芳子、 中谷 啓子、橘田 節子、 吉野 由美子、石附 友美、 蔵本 文乃、石川 ひろみ

## (2) 地域住民対象

月日／会場	テーマおよび講師等	参加者数	担当者
9月6日／ 東海大学医 療技術短期 大学講堂	やってみよう！みてみよう！ますます元気 生活！！ー見つめよう自分の健康ー 第1部：講演「健康とストレス」 講師：飛田 美穂先生 (本学学長補佐・教授) 第2部：体験「健康チェック」 (唾液によるストレスチェック・血圧・検尿) ストレスチェック全体説明担当： 吉野 由美子先生	20名	小川 景子、中谷 啓子、 林 真理子、望月 好子、 新村 直子、吉野 由美子、 飯室 淳子、石附 友美、 蔵本 文乃、石川 ひろみ、 学生ボランティア3名
9月6日／ 東海大学医 療技術短期 大学講堂	やってみよう！みてみよう！ますます元気 生活！！ーやってみよう車椅子の操作ー デモンストレーション担当： 蔵本 文乃先生・石附 友美先生	16名	小川 景子、中谷 啓子、 望月 好子、新村 直子、 吉野 由美子、飯室 淳子、 石附 友美、蔵本 文乃、 石川 ひろみ、学生ボラン ティア3名

## 2) 研究支援

## (1) プロジェクト研究

## A 申請（採択）状況

番号	研究代表者	研究分担者	テーマ	研究申請期間
08- 2201	瀧澤 直子	吉野 由美子	精神看護学実習における学生の共感経験に 関する研究ー関わる経験からの学びと共感 経験との関連ー	2007年度～ 2008年度

08-2202	横島 啓子	飯室 淳子 岡田 さとみ 柏木 真里子	老年看護学実習における学生指導のあり方に関する研究－療養病院での学生の実習到達度と臨床実習指導内容の分析から－	2007年度～ 2008年度
08-1101	望月 好子	小川 景子 石田 貞代	高校生への「生と性教育」によるエンパワーメント－ピアエデュケーションの効果と課題－	2008年度

## B 研究成果（論文・学会発表など）

テーマ	研究者	掲載誌・発表学会（開催地）[巻（号）、頁、年、月]	研究申請期間
看護学生の禁煙に関する研究の動向	中田 芳子	日本禁煙学会雑誌、3（4）、p. 59-62、2008. 8	2005年度
知・技・心の一体化をめざした基礎看護技術習得プログラム－プログラムの作成プロセスおよび試行と評価－	吉田 礼子 秋元 とし子 林 真理子	東海大学医療技術短期大学総合看護研究施設論文集、（17・18）、p. 9-19、2009. 3	2006年度～ 2007年度
老年看護学実習における学生指導のあり方に関する研究－療養病院での学生の実習到達度と臨床実習指導内容における学生・臨床実習指導者評価の比較から－	横島 啓子 飯室 淳子 岡田 さとみ 柏木 真里子	東海大学医療技術短期大学総合看護研究施設論文集、（17・18）、p. 20-28、2009. 3	2007年度～ 2008年度
療養病院実習における指導内容に関する研究－ECTB 評価スケールを用いた指導者と学生の評価結果比較から－	横島 啓子 飯室 淳子	第 28 回日本看護科学学会学術集会（福岡）、講演集 p. 543、2008. 12	2007年度～ 2008年度
老年看護学療養病院実習における学生の到達度について－学生・指導者評価結果からの比較検討－	飯室 淳子 横島 啓子	第 28 回日本看護科学学会学術集会（福岡）、講演集 p. 314、2008. 12	2007年度～ 2008年度

## (2) 看護研究を支援する活動

神奈川県内 100 床以上の病院等の施設に勤務する看護職者を支援対象として支援希望者およびグループを募集した。2008 年度は、16 件の応募があり、2008 年度からの 2 年継続研究 3 件と合わせ、合計 19 件の研究を支援した。研究支援期間は、2008 年 7 月から 2009 年 3 月までであり、最大 4 回の面接指導（1 回 1 時間程度）を本学総合看護研究施設において実施した。

研究支援を担当した教員は、次の 17 名である。今瀬 繁子、吉田 礼子、秋元 とし子、小川 景子、瀧澤 直子、丹澤 洋子、中田 芳子、中谷 啓子、林 真理子、望月 好子、横島 啓子、新村 直子、阿部 ケエ子、吉野 由美子、飯室 淳子、石附 友美、蔵本 文乃。

## 3) 論文集の発行

2009 年 3 月 31 日、「東海大学医療技術短期大学総合看護研究施設論文集 第 17・18 号 2007・2008 年度」を発行した。